

例年にない春！



新型コロナウイルス拡大の影響で、例年にない春を迎えました。「行事で鍛える」という神埼市の教育の柱の一つを実践しようとした矢先の出来事（2週間の臨時休校）に…。保護者の方にも多大なご苦勞をおかけしたことと思います。そして何より大事な教育の機会を奪われた形になってしまった児童に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

そんな状況下でも、「私達に最大限できることは？」という思いで話し合い、18日（水）の卒業式を迎えました。異例づくしの卒業式でしたが、卒業生達は、堂々と「自分の将来の夢を披露」し、凜として証書を受け取ることができました。立派でした。「つなぐこころ」を大事にしている本校にとって、在校生にその勇姿を見せることができなかつたことが双方にとって、何より残念なことでしたが…。



卒業式での話

校長にとって、卒業式の「式辞」は、子供達に伝えたいことの最たるもの。在校生のみなさんにもお裾分けをと思い、概要を掲載します。

（前略）みなさんが、修学旅行の帰りにバスの中で観た、ディズニー映画の創始者でもある、ウォルトディズニーのお話をしましょう。このウォルトの生き様や考え方は、私達に沢山の勇気とヒントを与えてくれます。

（右上に続く）

まず一つ目の教えは、『人生を力強く生きていくために何より大切なことは、「高い志」を抱くこと』だと教えてくれます。ウォルトは、ディズニーランドのオープンの際のスピーチでこう言っています。

「私は、ディズニーランドが、人々に幸福を与える場所、共に生命の驚異や冒険を体験し、楽しい思い出を作ってもらえるような場所であって欲しいと願っています」と。そして彼は教えてくれます。夢を叶える秘訣は、

○好奇心をもつこと

○自信をもつこと

○勇気をもつこと

そして何より

○継続することが大切であることを。

しかし、ウォルトは、順風満帆の人生を送り成功者になったのではありません。ここに二つ目の教えが隠されています。

小学校時代の6年間、毎朝3時半に起きて新聞配達を行ったり…。（中略）しかし、彼は言います。

「失敗したからって何なのだ。失敗から学びを得て、また挑戦すればいいじゃないか。人生で経験したすべての逆境、トラブルが私を強くしてくれた。」

夢は、易々とは実現しません。だからこそ、決して諦めてはいけません。諦めさえしなければ、最後に何かをなし得るものなのです。ウォルトも、「高い志」を抱き、困難に打ち勝ち、日々前向きに生きたからこそ、「神様にご褒美を下さったのだ」と思っています。（後略）



修了式、辞任式は放送で！

最後までコロナウイルスの影響です。一堂に会する機会を極力減らし感染予防を図るため、24日の修了式、辞任式も放送で行うことにしました。出会いと別れの意味を知る事は、人としての成長に欠かせないもの。放送に耳を傾け、何かを感じてくれたらと願いながら…。

4月6日（月）まで、また長期の休みに入ります。一刻も早く平穏な日常が戻ってくる事を祈っています。この1年間、本当にお世話になりました。

